



Press Release
報道関係者各位

平成 24 年 9 月 4 日
株式会社ユビテック
(JASDAQ コード: 6662)

**「Ubiteq Android ユーザビリティ評価サービス」をサービスイン
～AndroidOS 実装端末、Android 実装アプリケーションを対象とした第三者評価サービス～**

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック（東京都品川区、代表取締役社長：荻野司、以下「ユビテック」）は、AndroidOS 実装端末、Android 実装アプリケーションを対象とした「Ubiteq Android ユーザビリティ評価サービス」を 2012 年 9 月より開始いたしました。

■スマートフォン利用時の市場トラブルが増大

フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行期にあたる現在、スマートフォン利用時のトラブルやユーザークレームは増大傾向にあります。その要因として、仕様書や設計書に基づくテストだけでは、ユーザーの利用シーンに対する試験としては不十分であることが考えられます。この度ユビテックでは長年に渡って蓄積された評価事例を分析し、エンドユーザーの利用シーンと不具合発生要因を組み合わせることで項目化した「Ubiteq ユーザビリティ評価シナリオ」を作成いたしました。「Ubiteq Android ユーザビリティ評価サービス」では、当社評価シナリオの活用により、市場リリースの最終確認として、最適なコストパフォーマンスで検証が可能です。

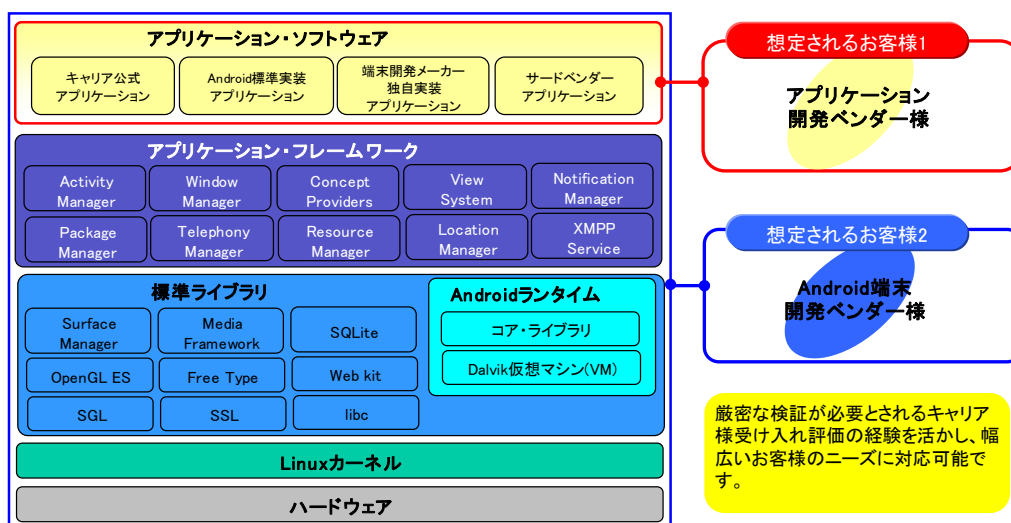
■「Ubiteq Android ユーザビリティ評価サービス」のメリット

- 15年に及ぶ評価事例を分析し熟練評価者の知見を完全シナリオ化。
- 精度の高い不具合検知により市場不具合を事前防止し開発コストの削減に貢献。
- 評価実績の無い新規実装機能や新規アプリケーションについても短期間でゼロから評価シナリオの作成及び評価実行が可能。
- フリーデバッグ試験(経験と勘のみに頼る試験)と異なりテスト技術者間における重複実施を避け、効率的な実行が可能。
- 実施した試験観点や試験内容は、詳細な結果レポートとしてご報告。

【試験手法別のメリット・デメリット】

	Ubiteq ユーザビリティ評価	試験手順書(仕様書・設計書)	フリーデバッグ試験
試験の網羅性	△	○	×
試験内容の明確さ	○	◎	×
試験の柔軟性	○	×	◎
試験の効率性	◎	×	△
想定外の重要不具合検知	◎	×	○
試験規模の把握、見積もりのし易さ	○	◎	×
効果測定のし易さ	○	○	×
フィードバック(蓄積・改善)	◎	△	×

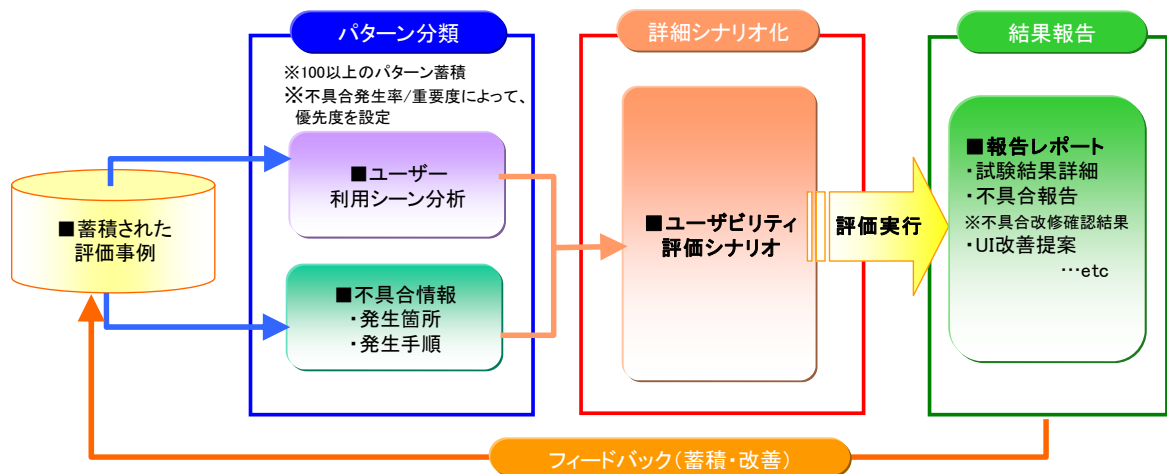
■「Android ユーザビリティ評価サービス」の検証対象 ～ お客様イメージ



■「ユーザビリティ評価シナリオ」による評価プロセス

蓄積した評価事例の経験値を分類し、100を超える試験パターンに分類、そこから「ユーザビリティ評価シナリオ」を作成いたしました。テスト技術者の勘やスキルに依存しない安定した評価品質をリーズナブルな費用でご提供いたします。お客様にはリアルタイムで発見された不具合情報をレポートすると共に、評価シナリオによる詳細な評価結果を提出いたします。

※ご要望に応じて、ユーザーインターフェースに対する使用性(使い勝手)の改善提案のオプション追加が可能です。



引き続きユビテックでは、お客様製品の品質向上に最大限貢献するため、効果的かつ効率的な検証サービスの提供に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ユビテック 担当：管理本部 総務課

電話：03-5487-5560 FAX：03-5487-5561